



だより



R5.5.9 Vol.5

### なぜ学校へ行くの？

昨年度の校長室だよりで「なぜ勉強するの？」という話題を取り上げました。今回は「なぜ学校に行くの？」という話題について少し。今の時代、勉強だけならどこでもできますよね。なぜ学校に行くのか？

人と関わるため！ですね。もっと言えば、自分と違う他者とぶつかるためです。違うのだから、ぶつかるのは当たり前です。それを学びとして、新たな自分をつくっていくためです。自分のバージョンアップでしょうか。

「学校は社会の縮図」なんて言われたりもしますが、今はその社会が、どう変わっていくか誰にもわからない時代です。その中で生きていくために、どう他者と関わればいいのか、それを学ぶために学校があります。そしてそれに関わる私たち教師も考えが固まってしまわないよう、柔軟でいたいと思っています。



### おはよう！パパ？！

子供に「おはよう！」と声をかけると、女の子が「あ！おはよう！パパ！』『えええ！パパあああ？～』お父さん、お母さんと言われたことはあるけど「パパ！」は初体験！新鮮でした。(笑) おじいちゃんじゃなくてよかった。(汗)

### まずいリンゴ

いつだったか、昔読んだ短編集にあった言葉をふと思い出しました。「まずいと言われたリンゴも悲しかったらうな。」当たり前なのですが、人は主観(自分の目)で物事を捉えます。が、時に、心に余裕がなくなると主観が全てになりがちです。勇気を出して深呼吸して一歩下がって見てみませんか？教師として保護者として人として見落としていた大事なことに気付くかもしれませんね。



### 四方山話令和5年度 ver. 其の五(言葉狩り)

ゴールデンウィークも終わりましたね。ゆっくり休めましたか？さて、この「ゴールデンウィーク」という表現、NHKでは使用されていないことはご存じでしたか？もともとは映画業界の言葉であることや、みんながみんな、金色の(優雅な?)週を過ごせるわけではないということに配慮してのことだそうです。「大型連休」という言葉が使われていますね。言葉の言い換えとえば、アメリカでは「メリークリスマス」という言葉は「ハッピーホリデー」、舞台等でよく聞いていた「レディース&ジェントルマン」という呼びかけは「ハローエブリワン」という言葉になっているようです。みんながみんな、キリスト教徒ではない、世の中には多様な性があるということに配慮してのことだとか。様々な立場にある人への配慮が進んでいくことはとても喜ばしいことです。が、これが行き過ぎると「言葉狩り」が起こります。

昨年、「煽り運転」がニュースでよく取り上げられていました。「煽る」という言葉もよく聞くようになりました。子供たちとドッジボールをしていた時のことです。相手チームの子供にボールを当てました。そして「よし！」と喜んだのですが、「煽るのはいけないと思います。」「わー煽りや！」という声が聞こえました。「言葉の誤用」と「言葉狩り」が起こっていること、わかりますでしょうか？もちろん、子供に悪意はありません。「スポーツとはそういうものだよ。」という話もしました。まあ、私にちょっかいをかけたい気持ちも少なからずあったのだとも思います。(笑)

時に、多様な価値や立場に配慮したり注意喚起したりする言葉であったはずのものが、いつの間にかそれしか許さないという空気を生み、多様な表現が消されていくことが起こります。そして「減多なことは口に出せない」というとても窮屈な環境が生まれ、自分達で自分達の首をしめるようなことが起こります。言葉ひとつだけを切り取るのではなく、文脈で判断することの大切さ、また「自分が正しい！」と思った瞬間、間違いの道に入り込んでいるのかもしれないというリスクを私たち大人がしっかりと考え、子供たちに伝えていきたいですね。